

# ゼロカーボン社会に貢献する「みやざき材の家」普及促進事業

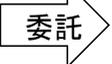
山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室 3, 256千円  
【財源：国庫、一般財源】

## 事業の目的

森林資源の循環利用や炭素の貯蔵によるゼロカーボン社会の実現へ貢献するみやざき材を活用した家づくりを促進し、県産材需要の維持・拡大を図る。

## 事業の概要

### (1) 事業スキーム

① 県  民間団体 ② 県  工務店・産直住宅団体等

### (2) 事業内容

#### ① 「みやざき材の家」情報発信事業

みやざき材の家づくりを推進する工務店等の登録制度や炭素貯蔵量認証制度の新設、県産材住宅フェアの開催

#### ② 「みやざき材の家」普及促進支援事業（補助率 1 / 3 以内）

見学会の開催や広告等による「みやざき材の家」の魅力を発信するPR活動に要する経費の支援

### (3) 成果指標

新設住宅着工戸数における木造率 現状（令和3年）64.2% → 令和7年 75%



## 事業の期間

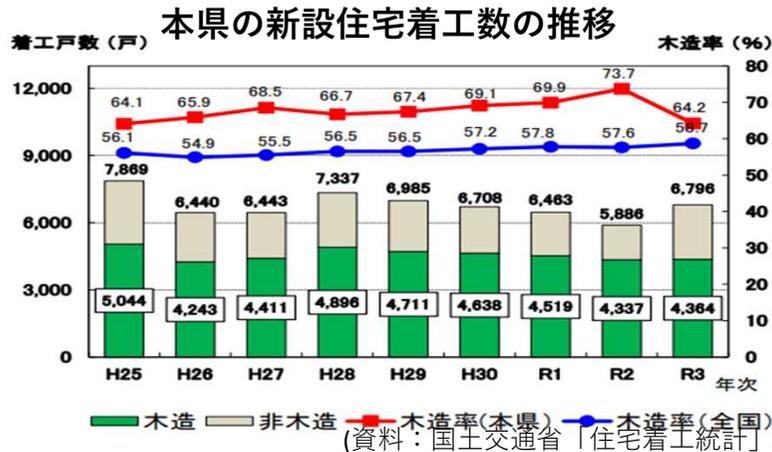
令和5年度～令和7年度



# 【別紙】 ゼロカーボン社会に貢献する「みやざき材の家」普及促進事業

## 現状と課題

- 人口減少に伴い住宅着工戸数の減少が予想される中、県産材需要の維持・拡大に向けては、木材需要の多くを占める木造住宅の普及促進を通じて、木材利用の情報発信を強化することが必要
- 一般消費者に対しては、「みやざき材の家」選択の動機付けとなるよう、住宅への木材利用は炭素を貯蔵しゼロカーボン社会に貢献することを分かり易く示し、県産材利用の意義について理解や認識を深めてもらう工夫が必要



## 事業内容及び効果

